

平成18年度「専修学校教育重点支援プラン」成果報告書

事業名	岡山県のデニム生産地を基盤にしたデザイナー型デニム製造販売業の人材育成開発事業		
法人名	学校法人第一平田学園		
学校名	中国デザイン専門学校		
代表者	理事長 平田 眞一	担当者 連絡先	戸田 陽子 TEL 086-225-0791

1. 事業の概要

デニム・ジーンズの生産地である岡山県地域の人材育成について検討を行った結果、デニム・ジーンズ業界では、高付加価値戦略や差別化戦略など様々な取組みが、デザイン、シルエット、素材、加工方法などほとんどすべての工程において実施されていることが分かった。そのため、産業界では、「素材・素材企画～企画・設計～生産・加工～流通～販売」各工程での専門知識や技術、さらに歴史、海外事情などの知識を網羅的に有する高度な人材が要求されている。しかしながら、各工程における専門知識・技術は、各企業が個々で保有し、体系的にまとめられたものは企業にも存在しないことが分かり、事業計画の仮説が正しいことが確認された。

本事業では、岡山県および近隣のデニム生地メーカー、ジーンズメーカーなどの協力のもと、不足しているデニム・ジーンズに特化した体系的な教材開発に取り組み、産業界の人材育成ニーズに対応するとともにこれからの岡山県のジーンズ産業を担う人材育成基盤の整備を目指した。

デニム素材の特徴や加工方法、デニムを使用したジーンズパターン・縫製、デニム素材集、デニム・ジーンズの用語集、およびジーンズビジネスの構造と今後を解説した全5冊の教材を開発した。開発した教材を用いて説明会を開催し、その検証を行った。

開発した教材の内4冊については、服飾系専門学校302校に配布し、「デニム素材テキスト集」については、各都道府県専修学校各種学校協会へ配布し、広く閲覧できるよう配慮した。さらに成果報告会を開催しその普及に努めた。

成果報告会終了後、服飾系専門学校7校より授業に使用したいとの打診があり、さらに地域企業からは社員教育に使用したいなどの要望が寄せられ、非常に高い評価を得た。

## 2. 事業の評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況

本事業では、地域産業の活性化のための人材育成を行うことを目的に、デニムジーンズの生産地である岡山県に必要な人材について検討した。デニム・ジーンズ産業を取り巻く環境は非常に厳しく、生き残りを掛けた戦力への取組みが行われ、次代を担う人材として、デニム・ジーンズ産業についての知識・技術を網羅的に有する高度な人材が必要であることが分かった。

本事業では、人材育成のためのデニムジーンズに特化した体系的な教材の開発に取組み、産業界の人材育成ニーズに対応するとともにこれからの岡山県のジーンズ産業を担う人材育成基盤の整備を目指した。

教材は、「デニム・ジーンズの歴史・素材・加工について」「デニム素材テキスタイル集」「ジーンズパターン・仕様・縫製について」「デニム・ジーンズの用語解説」「デザイナー型ジーンズアパレル起業への道」の全5冊を開発し、各工程の企業が保有するノウハウを体系的、網羅的にまとめた。開発した教材は、服飾系専門学校教員より非常に高い評価を得るとともに、地域産業界からも注目されている。一方で、実習などについては一部に学校設備としては持つことが困難である特殊機械を使用しなければならない点に指摘を受け、実習の方法やしくみが課題となった。

### ②事業により得られた成果

#### ■成果物

- ①デニム・ジーンズの歴史・素材・加工について
- ②デニム素材テキスタイル集
- ③ジーンズパターン・仕様・縫製について
- ④デニム・ジーンズの用語解説
- ⑤デザイナー型ジーンズアパレル起業への道

体系的、網羅的に全5冊のテキスト教材を開発した。

②デニム素材テキスタイル集は、授業で実践的に利用するため、産業界で通常用いられているバインダーに納める形でまとめた。

デニム生地メーカーのノウハウを集約し、洗い加工や特殊化工された生地までを網羅的にまとめた素材集は、大手ジーンズメーカーから、今までメーカーには無い非常に役立つ教材であり、自社でも活用できるとの高い評価を得ている。

④デニム・ジーンズの用語解説については、A5サイズで作成し、携帯性を高めた。

専門学校の教員を対象に開催した「デザイナー型デニムジーンズ人材育成開発教材」説明会では、「大変素晴らしい内容である」などの意見をいただき、内容として適切であるとの評価を得た。

研究・開発の過程で、参画していただいている企業・団体をはじめ、地域の産業界とのつながりの強化は、今後のデニムジーンズ人材教育にとって大きな財産となった。

開発した教材の内4冊については、服飾系専門学校302校に配布し、「デニム素材テキスタイル集」については、各都道府県専修学校各種学校協会へ配布し、広く閲覧できるよう配慮した。さらに成果報告会を開催しその普及に努めた。

成果報告会終了後、服飾系専門学校7校より授業に使用したいとの打診があり、さらに地域企業からは社員教育に使用したいなどの要望が寄せられ、非常に高い評価を得た。

### ③今後の活用

開発した教材は、当校の次年度授業教材として使用することが決定している。当初、デニム・ジーンズ科のみでの使用を決定していたが、ファッション系すべての学科で使用することを決定した。

また、教材「デニム・ジーンズの歴史・素材・加工について」は、地域産業を理解する重要な資料となるため、当校全学科での利用を検討している。

服飾系専門学校、地域の企業より活用の打診があり、その対応を検討している

### ④次年度以降における課題・展開

本事業で開発した教材は、デニム・ジーンズに関する体系的な教材が存在しなかったため、デニム・ジーンズの知識・技術を網羅的・体系的にまとめた。次年度当校教材として利用することが決定しているほか、服飾系専門学校や地域産業界での活用も期待されている。しかしながら、知識・技術を網羅的にまとめたため、全体のバランスからそれぞれについての高度な専門知識・技術までの言及には限界があった。地域産業の求める高い能力を持つ即位戦力の人材育成のためには、さらに高い専門知識・技術の修得を目的とした教材が必要である。本事業の成果をもとに産業界の求める高度人材育成のために、それぞれ工程ごとに高度化された知識・技術を修得するための教材の研究・開発と教育を実践するためのデニム・ジーンズ科4年制課程の教育カリキュラムの研究・開発を行うことにより地域人材の育成に貢献することを目指したい。

具体的には、

①「デニム素材企画・製作」、「ジーンズ洗い・加工技法」「デニム素材デザイン・パターン技法」「ジーンズアパレルリテールマーチャンダイジング」「ジーンズアパレル店舗演出・販売技法」などの教材の研究・開発を行うこととしたい。

②服飾系専門学校教員より指摘のあったように、授業を進める上での課題として、学校の設備では困難な専門的な特殊機材などが実習に必要となる。地域企業とのつながりから、企業実習などをカリキュラムに取り入れた実践的なデニム・ジーンズ科教育カリキュラム・システムの構築を行う。学習内容の範囲、到達目標のレベルから専門学校4年制課程を想定したカリキュラムの構築に取り組むこととしたい。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①ヒアリング調査

##### ■調査のねらい

・開発教材の内容に反映させるため、販売店を持つデニムジーンズメーカーへ今後のジーンズ業界や取り巻く環境、求められる人材の能力を調査し、教育の領域、範囲、レベルなどとの差異を明らかにする。

■対象:有限会社キャピタル 代表取締役 平田 俊清

■方法:訪問による聞き取り調査

■調査項目:ビジネスモデルの全体像、他社との差別化のポイント、御社のデザイナーの特徴・今後望むこと、製造行程担当者の特徴・今後望むこと、販売担当者の特徴・今後望むこと、今後のジーンズ産業について

■調査結果及び分析の内容:

ジーンズ産業も中国などから廉価な商品が輸入される中、高付加価値戦略で差別化を図ることが不可欠である。どのような付加価値を持つかは社員のクリエイティブな発想に期待するところが大きく、これからの人材に不可欠な要素である。デザイナー型ジーンズメーカーの社員として、ものづくりの楽しさややりがいなどをどのパートを受け持つにしても全員で共有できることが必要である。差別化をするために生地そのものの企画から手がけるような案件が多くなっている。

調査結果から、素材・素材企画～企画・設計～生産・加工～流通～販売という各工程の専門知識や技術が網羅的に必要であることが確認された。

#### ②教材の開発

デニム・ジーンズに特化した最新情報・技術を体系的にまとめた実践的なテキストを開発した。開発については、企業・関連団体から参画している委員に協力いただき、産業界のノウハウを集約した。

テキストは、5種類開発しそれぞれに学習しやすい体裁にまとめた。

##### ■デニム・ジーンズの歴史・素材・加工について

開発のポイント

ジーンズメーカー、デニム生地メーカー、染色・洗い加工業のノウハウを集約したものとした。日本の歴史では、岡山の地域についても記載し、地域の特性について言及した。

##### ■デニム素材テキスタイル集

開発のポイント

・デニムの基本的な素材(生地)現物をライブラリー化する。糸の太さ、織りの違い、染色の違いを実際に触れて理解するための素材テキスタイル集教材を開発した。

・洗い加工や特殊加工された生地までを網羅的に集約したものとなり、大手ジーンズメーカーからは、今までメーカーには無い非常に役立つ教材であり、自社でも活用できるとの高い評価を得ている。

##### ■ジーンズパターン・仕様・縫製について

開発のポイント

・特殊ミシン・裁断・縫製工程・特殊な縫製工程・仕様・付属・仕上げ・仕様書

・各部位の名称・収率について・サイズについてなどのデニム素材になければならない特殊な作成技術についての実践的なテキスト教材を開発した。

### ■ デニム・ジーンズ用語解説

・素材/紡績/縫製/シルエット/デザイン/パーツ/ディテール/洗い加工/歴史/服種/ビジネス用語などのデニム素材をデザインする上で、その特性を理解しなければならないことを集約し、かつ専門用語を網羅したテキスト教材を開発した

### ■ デザイナー型ジーンズアパレル起業への道

・国内外の代表的なデニムジーンズブランドについて・インポートプレミアムジーンズについて・デニムビジネスの仕組み・SPA型小売業について・ジーンズ小売店について・デザイナー型デニム製造販売業についてなどの既存デニムビジネスの概要と、これから将来に学生自らが起業し製造販売をするための知識と技術を習得するためのテキスト教材を開発した

### ③実証講座

#### ■「デザイナー型デニムジーンズ人材育成開発教材」説明会

開発した教材の領域、範囲、レベルなどを検証するため、服飾系専門学校教員および学生を対象に、説明会を実施した。

日 程 : 平成19年2月27日

会 場 : 中国デザイン専門学校(岡山)

参加者 : 23名

説明会終了後のアンケートでは、「学生を対象とした場合、適切か」との質問に参加者の78.3%適切と回答し、領域、範囲、レベルなどについて適切であることが確認された。

### ④その他

本事業では、岡山県の地域人材育成を目的に地域企業・団体の協力をもとに、教材を開発した。

■特に企業のノウハウをこれからの人材育成のために公開していただき、生きた情報・技術・知識の集約を目指した。デニム生地メーカーの協力で作成したデニム素材テキスタイル集は、源布と加工したものを比較できるよう、掲載するすべてのデニム生地に2種類の洗い加工を施し、デニム生地の特徴を実感できるものとした。また、特殊加工や薬品加工についてもサンプルを用意し、質の高い素材集となった。

■今後のデニム・ジーンズ産業を考えた際に生産拠点として中国、東南アジア動向は、外すことのできない基本的な情報である。特に中国の情報は、参画している地域企業・団体の協力で、教材にできる限り反映させた。

■地域企業との協力体制の構築や今まで以上の関係強化を念頭に事業を実施し、高等職業教育機関として、地域人材の育成の継続的な発展を図れるよう今後の活動を見据えて事業に取り組んだ。